

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部産業雇用支援課	■担当係	雇用対策係
■評価事業名称	大学生等インターンシップ強化事業		
■事業開始年度	平成28年度		
■評価事業コード	060200 - 353	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり	
	■基本施策	04 地域産業を担う人づくりと雇用環境の向上	
	■施策	01 雇用環境の向上	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	管内事業所に対する理解を深める機会としてインターンシップを積極的に展開し、事業所と大学新卒者のマッチングを促進するため、人材確保コーディネーターを1名配置し、受入事業所の開拓と受入プログラムの作成支援を行う。また、参加学生の負担を軽減するため、最寄駅からインターンシップ先までの異動に係る交通費を支給する。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	大学生等インターンシップ強化事業	大学生、企業	①人材確保コーディネーター設置②インターンシップ企業開拓、リスト作成③UIターン希望者相談④インターンシップに係る交通費等の補助	①人材確保コーディネーター1名②インターンシップ実施取材7件、諏訪町商店街の活性化を考える地域志向型インターンシップを初実施(1人参加)③インターンシップに係る交通費等の補助 利用人数77人、支給総額258,540円④インターンシップ受入企業向けセミナー 2回開催 20社25人参加

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費		2,374	3,681	3,285	
人件費		2,253	2,289	922	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト		4,627	5,970	4,207	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	インターンシップ受入人数		17	37	77	交通費助成利用者数
02	インターンシップ受入表明事業所数		27	22	19	「インターンシップin東北」エントリー事業所数
03	インターンシップ受入企業数		11	14	9	交通費助成を申請した学生を受け入れた企業数

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

インターンシップ交通費助成の利用者が増加した。また、新たな取り組みとして地元商店街と連携した課題解決型のインターンシッププログラムを作成し、学生の受入れを行った。

問題点・課題等

インターンシップは就業体験を通し企業や産業の理解を促進し、職業間の形成に資するものであるが、最近の売り手市場を背景に実質採用活動に位置づけるケースも出てきている。学生も採用に有利となるインターンシップに参加する傾向があり、受入企業数が減少している。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

今後の大卒採用の動きを注視するとともに、参加学生の動向を踏まえながら、本事業の在り方を検討していく。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了